

2018年

12月16日 日

13:00~16:30 (予定) 開場 12:30

弘前大学 人文社会科学部
4階 多目的ホール

来聴歓迎 事前申込不要・入場無料

弘前藩の藩校「稽古館」が所蔵していた古典籍資料は、現在、東奥義塾高校や弘前市立弘前図書館に保存されています。これらは江戸時代の津軽地域における人々の「知の体系」を解き明かすための貴重な文化遺産です。弘前大学では、2014年から調査研究を行い、毎年成果発表会を開催してまいりました。今年も、今年度調査における最新の成果を、各専門分野の教員がそれぞれの立場から報告いたします。また長野県内の藩校資料調査を進めておられる信州大学の白井純先生に、長野の藩校資料の現状と課題をご講演いただきます。

津軽の歴史・文化に関心をお持ちの方はどなたでも自由にご参加ください。一人でも多くの方のご来場をお待ちしております。

■プログラム

13:00 開会 開会の辞 弘前大学人文社会科学部 学部長 今井 正浩
ご挨拶 東奥義塾高等学校 塾長 コルドウェル ジョン

第一部

13:15 基調講演
信州諸藩旧蔵古典籍の現状と課題

講師 信州大学 人文学部 准教授
白井 純 先生

第二部・第三部

14:25 研究報告 今年度の調査の成果を、各専門分野の立場から弘前大学教員が報告します。

16:10 コメント 青森中央学院大学 教授 北原 かな子

16:30 閉会 閉会の辞
弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター 副センター長 渡辺 麻里子

■主催 弘前大学人文社会科学部
弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

■共催 東奥義塾高等学校 (株)北原研究所

■後援 弘前市 東奥日報社 陸奥新報社

■科研費 ※科学研究費助成事業 基盤研究(C)「弘前藩藩校「稽古館」旧蔵本の悉皆調査による近世津軽における知識集成の解明」 研究代表者：植木久行

【お問い合わせ】弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター(古川・渡辺)

住所：〒036-8560 弘前市文京町1番地 電話：0172-39-3198(直) 平日10:15~17:00 メール：irrc@hirosaki-u.ac.jp

弘前藩藩校資料調査研究会ウェブサイト <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/hankou/> 弘前藩藩校資料調査研究会 検索

資料調査報告会 旧弘前藩藩校稽古館

二〇一八年度



タイムスケジュール

13:00 開 会 開会の辞 弘前大学人文社会科学部 学部長 今井 正浩
ご挨拶 東奥義塾高等学校 塾長 コルドウェル ジョン

13:15 第一部 基調講演 (60分)

信州諸藩旧蔵古典籍の現状と課題

信州大学 人文学部 准教授 白井 純 先生

14:15~14:25 休憩(10分)

14:25 第二部 研究報告① (45分) 武井 紀子 / 原 克昭 / 尾崎 名津子

15:10~15:20 休憩(10分)

15:20 第三部 研究報告② (45分) 植木 久行 / 亀谷 学 / 渡辺 麻里子

16:10 コメント 青森中央学院大学 教授 北原 かな子

16:30 閉 会 閉会の辞 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター
副センター長 渡辺 麻里子

第一部 基調講演 講師紹介



しらい じゅん
白井 純 先生 信州大学 人文学部 准教授

1973年愛知県豊橋市生まれ。修士(文学)。ご専門は、日本語学、キリシタン語学、印刷技術史で、「キリシタン版の仮名文字遣」(『訓点語と訓点資料』122輯、訓点語学会、2009年)など、多数のご業績があります。近年は、長野県内の図書館・博物館と協力し、旧藩所蔵典籍の調査と研究を継続的に行っておられ、関連業績として、「藩文庫」調査報告—高島藩の場合を例として—(共著『信州大学人文科学論集』4号、2017年)、「木曾の人、大脇自笑—末流の長沼流兵法家による「兵要録」本文校訂—」(『地域ブランド研究』11号、2016年)、「松本藩版「兵要録」—活字本から整版へ—」(『信州松本藩崇教館と多湖文庫』新典社、2015年)などがあります。この度は、これらの調査を踏まえ、信州の藩校資料の現状について、信州大学の調査方法や活動内容にも触れながらご講演いただきます。

第二部 研究報告 題目・発表者

■東奥義塾高校図書館所蔵資料の保存木箱について
—(付)2018年度藩校資料調査概要—

弘前大学人文社会科学部 准教授(日本古代史) 武井 紀子

■東奥義塾高校図書館蔵日本思想史関係資料について

弘前大学人文社会科学部 准教授(日本思想史) 原 克昭

■古川正雄『絵入智慧の環』について

弘前大学人文社会科学部 講師(日本近現代文学) 尾崎 名津子

第三部 研究報告 題目・発表者

■『資治通鑑』二種—江戸末の藩版と明末の坊刻本—

弘前大学 名誉教授・人文社会科学部客員研究員(中国古典文学)
植木 久行

■東奥義塾高校図書館所蔵科学関連資料について

弘前大学人文社会科学部 講師(ユーラシア史) 亀谷 学

■東奥義塾高校図書館所蔵「奥文庫」関係資料について
—(付)2018年度藩校資料調査プロジェクト報告—

弘前大学人文社会科学部 教授(日本古典文学) 渡辺 麻里子

コメント 青森中央学院大学 教授 北原 かな子